

浴衣地など多彩に300点

絞り新作コンクール 名古屋・展示会も



伝統工芸の絞りの新作を
 展示し、優秀作品を選ぶ
 「有松・鳴海絞新作コンク
 ール'96」（県絞工業組合な
 ど主催）が二十二日、名古
 屋・栄、セントラルパーク
 で行われ、セントラルギャ
 ラリーとイベントコートで
 二十四日まで展示会が開か
 れている―写真。

有松・鳴海に代表される
 伝統工芸の絞りは高い評
 価を受けているが、今回
 は若い世界にもアピール

しようと初めて名古屋の都
 心に進出した。作品は浴衣

地の新作百二十一点をはじめ、女性の服地、インテリア、小物など合わせて約三百点。

最近好まれていた淡い色や配色のよさを生かしたものの多彩さを誇っている。

会場にびっしり張り詰められた浴衣地はコンクール用に作られた力作ぞろい。根強い人気の紺地のほかに

審査の結果、中部通商産
 業局長賞は浴衣の部で近喜
 （緑区鳴海町）、服地の部
 で久野染工場（同有松町）
 の作品が受賞した。